

医療機関向け 地域医療連携ネットワークシステム～MIDORIネット～のご案内

MIDORIネットとは

当院の電子カルテと地域医療機関のパソコンをインターネットで結び、登録医療機関の先生方に当院における患者さんの診療情報を提供するシステムです。



インターネット上で
診察予約・画像参照・
レポート参照・
カルテ参照



患者さんのカルテを
日常の診察室で参照
できるので安心。

MIDORIネットの機能



① 外来診察・検査のオンライン予約

外来診察枠や検査枠をオープンにしており、診療科の診察や検査予約を直接、お取りいただけます。

② 診療情報の共有

患者さんの同意をいただき、カルテ情報や画像情報といった診療情報の閲覧が可能となります。

2024年4月からMIDORIネットを導入致しました。予約の利便性を向上させ、患者さんの情報を共有することにより、地域全体で医療サービスを提供していきたいと考えております。MIDORIネット接続のお手続きに関しましては、順次進めておりますので、地域医療連携センターのスタッフにお申しつけください。

お問い合わせ 地域医療連携センター直通 TEL 052-892-1334 [平日 8:45～17:15]

ダイバーシティ推進奨励賞を受賞しました

みどり市民病院は、ハンディキャップ等を抱えながら積極的な社会活動を行う皆さんとの協働を大切にしています。当院には、外部委託や医療現場のスタッフだけでは対応しきれない仕分けや配達、アイロンや縫物、清掃活動等の業務を担当する「グリーン・ハート」のメンバーがいます。メンバーは、人の手を必要とする様々な業務を細やかな気配りで行ってくれ、院内の職員から頼りにされる、なくてはならない存在となっています。

今回、ダイバーシティを推進する名古屋市立大学に、「グリーン・ハートの活動を「多様な個性を持つ職員が協働し活き活きと働き続けられる職場づくり」として報告し、名古屋市立大学ダイバーシティ推進奨励賞・活動/教職員部門を受賞しました。互いの個性や多様性を認め合いながら1人ひとりの力が発揮できる職場環境づくりはとても大切です。今後も多様な人材が活き活きと働き続けられる職場づくりに取り組んでいきたいと思っております。



病院長と受賞した「グリーン・ハート」のメンバー

有料個室料金及びサービスの変更について

有料個室料金について、一部設備の刷新と合わせ2024年6月1日より料金を改定させていただきます。また、同日付にて個室名称の変更、利便性の向上を目的とした付帯サービスを開始いたします。詳細は下記となりますのでご理解賜りますようお願いいたします。

個室名(旧個室名)	旧料金	新料金	設備	付帯サービス
A個室(特別室)	9,900円	13,200円	32型テレビ、冷蔵庫、ユニットバス、キッチン、電子レンジ、付添い用ソファ	・テレビ、冷蔵庫の利用無料 ・アメニティセット無料 ※Aセットのみ(寝巻、タオル類、日用品一式)
B個室(特A室)	4,950円	9,900円	19型テレビ、冷蔵庫、トイレ、洗面台	・テレビ、冷蔵庫の利用無料 ・アメニティセット無料 ※Aセットのみ(寝巻、タオル類、日用品一式)
C個室(特B室)	3,300円	5,400円	19型テレビ、冷蔵庫	・テレビ、冷蔵庫の利用無料 ※アメニティセットは有料でご利用いただけます。

お知らせ 2024年6月1日より個室以外の総室のテレビ・冷蔵庫の使用方法を、カード式から日額式に変更いたします。

発行元 名古屋市立大学 医学部附属 みどり市民病院 広報委員会 名古屋市緑区瀬見が丘一丁目77番地 TEL 052-892-1331【代表】



MIDORI REBORN



院内ホスピタルアート [左上: 1F小児科、右上: 2F待合スペース、左下: 中庭、右下: 1F受付前待合スペース]

Contents

P1 病院長メッセージ

MIDORI REBORN project
「二度目の春を迎えて」

救急外来オープン予定

P2 TOPICS①

新しく1.5T MRI装置
を導入しました

TOPICS②

ホスピタルアートが
できるまで

P3 お知らせ

- MIDORIネットのご案内
- ダイバーシティ推進奨励賞受賞
- 有料個室料金およびサービス変更



名古屋市立大学
医学部附属

みどり市民病院

NAGOYA CITY UNIVERSITY MIDORI MUNICIPAL HOSPITAL

病院長メッセージ

MIDORI REBORN project 二度目の春を迎えて



病院長
浅野 實樹
Miki Asano

昨年4月、当院は市立病院時代の標準医療を深化・重層化し救急医療を含めた急性期から回復期医療までの「治し支える医療」を提供する地域密着型大学病院として新生いたしました。

開院初年度はAI診断内視鏡やロボット支援整形外科手術など安全かつ高度で先進的な医療の導入、救急医療や感染症診療への積極的な対応を行って参りました。依然、力不足ではございますが当該検査・診療においては総内視鏡件数1768件、整形外科手術276件、walk-in対応2599件並びに救急車応需1733件、新型コロナウイルス感染症に対する入院加療167件が実績となりました。今年度は医療職はじめ職員増員に加え救急外来再整備(6月オープン予定)等で医療の質を一層高めるべく努力を継続して参ります。

教育研究機関としても昨年度は「地域を診る心」を持つ医療人育成の支援プログラムに基づき看護部門をはじめ全職種で延べ300回近い研修参加と50件を超える新たな資格修得となっております。また、院内迅速対応システムにおけるIoT実装を目標とした研究など各種臨床研究や研究成果の発信(海外学会18、国内学会53、論文49)も積極的に実践致しております。更に地域医療機関の皆さまを対象とした4つの研究会を延べ8回開催させて頂き最新の知見や診療内容の還元・発信に努めて参りました。

本館など築50年を超える施設老朽化は、大学病院としての医療の質を担保する上で当院の大きな課題となっております。再整備計画を実現できるよう一層の病院実績を高めていく必要があるとも理解しております。20~30年後を見据え全てのステークホルダーにとって豊かな付加価値を有する病院となるべくDX等を大胆に取り入れた計画を立案・実施して参ります。

今後もスタッフ各自の成長を促し、技量はもとより全員が医療人としての自覚を持ち、相互信頼と尊敬に満ちた職場環境を醸成し「みどりブランド」として地域の皆さまから選ばれる病院に成長できるよう謙虚に真摯な診療を日々心がけて参ります。



救急外来オープン予定 【令和6年6月】

救急動線の改善および2次救急へのスムーズな対応のため、本院本館1階に救急外来の移設工事を進めています。敷地北側の第一駐車場側に新たに救急車の車寄せ及び入口を設け、屋外から直接救急外来へ搬送できるようになります。屋内は、初療室、診察室、点滴処置室、感染症対応の陰圧室などを新たに設けます。騒音や振動など、ご不便とご迷惑をおかけしておりますが、6月のオープンに向けて安全に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【イメージ図】

◀点滴処置室

▼初療室



MIDORI TOPICS

新しく1.5T MRI装置を導入しました

令和6年2月2日(金)より新しくフィリップス社製1.5T MRI装置 MR5300による検査を開始しました。

導入したMRI装置は、AI(人工知能)技術の応用によりこれまでの装置と比較して鮮明な画像を短時間で取得できるようになり、画期的な構造の新型マグネットにより大規模災害にも強く、非常時にダウンタイムを最小限にして早期に復旧することが可能となっております。

室内は「みどりの心」をテーマに、ダイナミックな映像や落ち着いた音楽に加え、室内照明とスカイライトによる開放感のある検査室内を実現し、患者さんが快適に安心して検査を受けていただけるようにデザイン致しました。

また、2名の磁気共鳴(MR)専門技術者により検査の最適化を行うことで、装置の性能を最大限に活用し、診断に役立つ画像の提供を心がけております。

患者さんの負担を軽減しながら、よりよい検査の向上にスタッフ一同努めて参ります。



緑を取り入れた色鮮やかなMRI検査室にて病院長とスタッフ

ホスピタルアートができるまで



待合での作業風景

当院利用者さまへのより良いサービス提供の一環として、令和5年8月末に院内美化プロジェクトを立ち上げ、半年に渡り待合スペースの壁面装飾や中庭の整備を行いました。プロジェクトは、ヘルスケアアートの実績がある鈴木賢一(名古屋市立大学)特任教授、阿部順子(福山女学園大学)准教授、高野真悟(名古屋短期大学)准教授と上記3大学の学生さんにご協力いただきました。1階受付前待合スペースの大鏡、中庭、小児科受付、待合室、診察室及び2階の待合スペースの整備が完了しました。引き続き病院スタッフ一同、当院利用者さまが快適に過ごしていただけるような環境づくりを目指して参ります。

※2024年1月15日放送の東海テレビ「ニュースONE」で取り上げられました。



産婦人科待合のアート



大鏡の作業風景